

検討の観点と内容の特色

書名	改訂 科学と人間生活	教番	2 東書・科人 002-901	判型・ページ数	B5 判・228 ページ
----	------------	----	-----------------	---------	--------------

項目	観点	内容の特色
内容の選択・程度	・学習指導要領の教科の目標を達成するため必要な教材が適切に用意されているか。 ・基礎的・基本的な知識・技能の理解や習得のための適切な配慮がなされているか。 ・観察、実験などを行い、科学的に探究する力を育成するための適切な配慮がなされているか。 ・「主体的・対話的で深い学び」が実現できるよう編集されているか。 ・発展的な内容の取り扱いに対する適切な配慮がなされているか。	・高等学校理科学習指導要領の「目標」「内容」及び「内容の取扱い」に示された事項のすべてについて不足なく取り上げている。 ・各学習項目の終末に「まとめ」「たしかめ」（練習問題）が設けられており、学習内容の要点を押さえ、定着が図られるように工夫されている。 ・各章末に「学習内容の整理」（用語とその意味の確認）と「章末確認テスト」が配置されており、基本的な学習内容の定着が図られるように工夫されている。 ・探究の過程に沿った構成で、適切な箇所に「観察・実験、資料探究」を設定し、生徒自らが課題を見いだして、探究的に学習が進められるように工夫されている。安全にも配慮されている。 ・「観察・実験、資料探究」には「考察のポイント」を示し、生徒自らが結果を分析、解釈してまとめ、科学的に探究する力を育成できるように工夫されている。 ・各学習項目の冒頭に「レッツスタート！」が配置されており、身近な自然や日常生活とのつながりを実感できる内容から導入し、学習への意欲を喚起できるように工夫されている。 ・適所に「レッツスタート！」「考えよう」が配置されており、生徒どうしの対話的、協働的な学びを通して理解が深められるように工夫されている。 ・科目の特性を考慮し、「発展的な学習内容」は掲載されていない。 ・「課題研究」では、これからの科学の在り方を考えさせる適切な題材を用いている。
組織・配列・分量	・内容の組織・配列は、学習指導を有効に進められるように考慮されているか。 ・分量は学習指導を有効に進められるように考慮され、精選されているか。 ・中学校との接続や他科目との関連など、カリキュラム・マネジメントに対する配慮がなされているか。 ・弾力的な取り扱いに対する配慮がなされているか。	・本文は平易でわかりやすく記述され、生徒自らが読み進め、理解できるようになっている。 ・節の構成が、「レッツスタート！」→「？」（学習の課題）→本文→「観察・実験、資料探究」→本文→「まとめ」で構成されており、生徒が主体的に課題を見いだして学習を進められるように工夫されている。 ・「課題研究」では、「研究の進め方」「実験の基本操作と安全対策」「研究報告書の作成」など、研究するにあたっての必要な情報が記載されている。 ・「発展的な学習内容」を扱っていないため、全生徒が無理なく学べる内容・分量になっている。 ・中学校での既習の内容を振り返り、抵抗なく学習が進められるよう、章扉に、関連する中学校での既習の内容を一覧に整理した「復習」が設けられている。また、二次元コードから中学校理科教科書の「学習のまとめ」の紙面を確認できるように工夫されている。 ・高等学校理科の他の科目との関連を示す「参考」が随所に設けられており、系統的に科学の内容に対する理解を深められるように工夫されている。 ・自宅でも実施可能な「ちょこラボ」が適所に配置されており、生徒の興味・関心、授業や学習の進度に応じて取り組むことができるように配慮されている。
表記・表現及び指導に対する工夫や配慮	・学習意欲を高めるための配慮がなされているか。 ・個に応じた指導への工夫がなされているか。 ・生徒の自学自習への配慮や工夫がなされているか。 ・持続可能な社会をつくる力を育成するための工夫がなされているか。 ・用語・記号の取り上げ方や記述のしかたは適切か。 ・文章、図やイラストは、わかりやすいものになっているか。 ・コンピュータやインターネットなど、ICT の効果的な活用への配慮や工夫がなされているか。 ・指導書や周辺教材での工夫や配慮がなされているか。	・章扉では生徒の暮らしに関わる身近な事象・現象の写真を豊富に掲載して生徒の興味・関心を喚起したり、本文中の写真もなるべく身近な製品を使ったりするなど、視覚的に生徒の暮らしと科学をつなげる工夫をしている。 ・節ごとに「？」（学習の課題）と「まとめ」が設けられており、生徒が課題意識を持ち、見通しをもって学習を進めるとともに、学習内容の要点を押さえられるように工夫されている。 ・「ちょこラボ」では、自宅でもできる実験を安全に配慮して扱っている。また、観察・実験ごとに、事故防止の注意マークを目立つように付している。 ・各学習項目の終末の「たしかめ」（練習問題）や各章末の「章末確認テスト」は、巻末に解答が示されており、自学自習への配慮がなされている。 ・教科書に掲載された資料を基に考察する「資料探究」が設定されており、学習環境に関わらず、また、自学自習でも探究的な学習活動が行えるように工夫されている。 ・コラムでは、衣食や健康、病気、医療、環境、防災などに関わる題材を取り上げ、学習内容と関連させながら解説しており、生徒が自らの暮らしと関連付けながら読み進め、学ぶ意義と科学の有用性を実感することができるように工夫されている。 ・コラムを中心に、SDGs に関連する内容を豊富に取り上げるとともにアイコンを付して強調し、意識を高めることができるように工夫されている。 ・読みやすさに配慮して、文字にはユニバーサルデザインフォントが使用されている。また、小学校で学習しない漢字にはすべての箇所に振り仮名が付されている。 ・文章は精選され、平易でわかりやすい表現になっている。また、簡潔でわかりやすい図やイラストが随所に掲載され、視覚的に理解が図られるようにしている。 ・観察・実験の方法・結果やワークシート、練習問題、中学校での既習の内容など、学習を円滑に進め、理解を促進する豊富なデジタルコンテンツが準備されている。また、紙面の利用箇所に二次元コードが配置されており、すぐに利用できるように工夫されている。 ・指導資料は「デジタル板書」、「動画」などのデジタル教材が充実しており、ICT を活用した授業に対応している。オンラインでの授業への対応も可能である。また、「授業プリント」、「小テスト」、「評価問題」などのプリント教材が充実しており、教師の働き方改革への配慮がなされている。

印刷・造本上の配慮	・印刷の鮮明さ、活字の大きさ、行間、製本などは適切か。 ・環境保全や生徒の多様な特性に対して配慮しているか。	・本文は従来より大きな文字が使用されており、行間もゆつたりと取られていて、読みやすさへの配慮が十分になされている。 ・製本は針金を使用せず接着剤で製本してあり、金属を使用しないことによるリサイクル性を重視している。 ・本の中心までページを開くことができる製本のため、生徒が使いやすくなっている。 ・生徒の負担に配慮し、紙は品質を保持しつつ軽量の紙を使用している。 ・用紙には再生紙を、インキには植物油インキを使用している。 ・レイアウト、色づかいなど、ユニバーサルデザインに配慮されている。また、見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントが使用されている。
総合所見	・上記観点からみた、全体的・総合的な当教科書の特徴。	・生徒に難解な印象を与えない構成、内容で、学習の要点が確実に押さえられるとともに、日常生活や社会と科学を結びつける工夫がされており、生徒が自ら楽しく学習を進め、確かな力が身につく教科書である。 ・文章は精選されて平易でわかりやすく、練習問題も豊富に掲載されており、理科を得意としない生徒でも自ら読み進めて理解し、定着を図ることができる教科書である。 ・授業の流れやポイント、中学校での既習の内容や高等学校理科の他の科目との関連がわかりやすく示されており、教師にとって指導しやすく、授業を楽しく豊かにするための参考となる教科書である。